ID:	=患者情報!B1		
患者氏名	=患者情報!B2	殿	
年齢 性別	=患者情報!B6	=患者情報!B7	=患者情報!B8

（【維持】イムデトラ［タルラタマブ］）療法

施行日	クール

入院/外来		入力日		年		月		日
疾患名	小細胞肺がん	開始日		年		月		日
クール	2週毎	診療科						
	※【導入】イムデトラ終了2週間後から【維持】イムデトラへ	医師名						

適応基準	☐ 1st Line ☐ 2nd Line ☑ 3rd Line以降	告知の有無		P S		同意書取得	☐ 済
	☐ 術前 ☐ 術後補助 ☑ 進行 ☑ 再発						
	☐ 2つ以上の化学療法（最低1つはプラチナ製剤を含む）の投与歴	身長	cm	体重	kg	体表面積	0.00 m^2

重要

B型肝炎の再活性化（de novo B型肝炎）対策として、右記の検査が未実施の場合は、全例スクリーニング対象となります。化学療法開始前or初回投与時に測定して下さい。

※詳細については、『化学療法により発生するB型肝炎対策～浦添総合病院バージョン～』をご参照下さい。

☐ HBs抗原
☐ HBs抗体
☐ HBc抗体

薬品名	単位	薬品名	単位		外来化療加算
イムデトラ 初回	1mg（固定用量）	イムデトラ 2回目以降	10mg（固定用量）		☑ A ☐ B ☐ 対象外

レジメン内容

D.I.V		
イムデトラ点滴静注	**10**	**mg**
生食液（250ml）	233	ml
輸液安定化液	**13**	**ml**
注射用水（20ml）	1	A

I.V（ラインフラッシュ用）		
生食液（20ml）	1	A

1時間

【注意事項】

調整後8時間以内に使用。すぐに投与開始しない場合は、注射液を冷蔵保存してください。
10mg最終投与から**28日以上**投与がなかった場合は、**【導入】**から再開してください。

【調整時の注意事項】

イムデトラ**10mg**は注射用水4.4mlで溶解し、2.4mg/mlとし、溶解液4.2mlを生食250mLバックへ混注

【混注の手順】

①生食250mlから不要量を抜き取る。（イムデトラ10mg→生食17ml抜き取る）
②輸液安定化剤13mlを加える。
③イムデトラを溶解したバイアルから必要量を抜き取り、生食250mlバックへ混注する。
（イムデトラ10mg→4.2ml）

【備考】

	確認者	監査者

	1Kur目		2Kur目		3Kur目	4Kur目	5Kur目
Day	1	8	15	22	29	43	57
イムデトラ1mg	↓						
イムデトラ10mg		↓	↓ ……		↓ ……	↓ ……	↓ ……

【導入】→【維持】→